

第4期活動記録 目次

| | |
|-----------------|----|
| 市民参加の拡大を目指して | 1 |
| 第4期区民会議の主な活動 | 2 |
| 区民のつどい | 3 |
| 部会活動記録 | |
| 福祉・保健・医療部会 | 4 |
| 自然環境部会 | 7 |
| 防災・交通部会 | 10 |
| 教育・子育て・生涯学習部会 | 13 |
| 文化・コミュニティ部会 | 16 |
| IT推進チーム | 19 |
| 2010プランフォローチーム | 21 |
| 運営委員会開催記録 | 23 |
| 広報委員会・ホームページ委員会 | 24 |
| 区民まつり・施設見学会 | 25 |
| 北部3区区民会議交流会 | 26 |
| 全市区民会議交流会 | 27 |
| 第4期区民会議に参加して | 28 |
| 第4期青葉区民会議委員名簿 | 31 |

市民参加の拡大を目指して

第4期区民会議代表委員 山本文義

第4期区民会議は、青葉区まちづくり指針及びゆめはま2010プラン新5か年計画策定時に発足しました。従って、「区民ニーズを反映した街づくり」をスローガンにして、青葉まちづくりの推進、まちづくりを通しての市民参加の拡大、区民及び自治会・地域団体との交流を深めること等を運営方針に、各位のご協力を得て活動し、期中の総会で報告しました。ここに任期を終えるに当たり、反省を踏まえ総括します。

一つは行政への提言・提案とそれを通して市民参加の拡大を図ったことです。従来は市予算への要望・提案が中心でしたが、5か年計画策定の立案段階から青葉まちづくり指針を踏まえて提言し、素案・中期政策プラン段階でもそれぞれ提案しました。また、行政のIT化についても、同様に「横浜市IT戦略」立案段階から提言し、さらに中田市長の就任方針に対応して「横浜北部市民生活IT特区構想」を提案しました。特にこの提案では市とも意見交換を行い、「横浜市電子市役所推進懇談会」へ委員を出すきっかけにもなりました。予算への要望・提言についても、事前に行政と勉強会・意見交換会を開いてその実現に努力しました。

以上は、各部会の調査・研究を超えた2つのプロジェクトチーム活動の成果であり、いわば今期区民会議の総力結集の賜物と感謝しています。

二つ目は区民のつどい2002の話し合いの結果を中田市長への提案として提出し、回答を貰ったことです。そしてその提案及び回答を一般参加者へ郵送し、区民との交流を深める努力をしたことです。また、今期から区民のつどいに連合自治会会長会の白井会長（ご挨拶）と幾人かの自治会長長の参加も得られたことです。まだ委員推薦のない連合自治会の参加と他団体との交流促進は今後の課題です。

三つ目は、前期より開催していない地域のつどいを今後の課題にしたことです。共催者の自治会が別途に地域の意見を集約して行政に反映していることもあり検討の結果、当期は必要の都度それに適した形で開催することにしました。現状では主に各部会活動を通じた地域との関係であり、「青葉台魅力ある街づくり検討委員会」には参画しています。今後、活動要領に規定の地域のつどいについて、結論を出す必要があります。

最後は時代の変化に対応して内部体制を強化することです。IT化及びHPの維持発展のためには一層の努力が必要であり、また区の権限強化に応じて区長の良きパートナーにならねばなりません。いずれ区民会議の真価が問われる時代が来ると思います。

当期は各部会でテーマ別活動、公開講座、シンポジウムの開催等が活発であり、部会から運営委員会への提案もありましたが、時代に対応できる内部体制に強化し、青葉区民会議が一層発展するよう切望します。

第4期区民会議の主な活動

(部会活動は別記)

| 年月日 | 活動内容 | 要点 |
|--|---|--|
| H13. 4. 7 | 第4期発足総会 | |
| 6. 18 | 「区民のつどい」のための勉強会 | 「街づくり計画」など |
| 7. 14 | 区民のつどい | テーマ「あなたが主役のまちづくり」 |
| 8. 16 | 「14年度予算要望・提言」提出 | 区長に説明 |
| 9. 5 | 「ゆめはま2010プラン」次期5ヵ年計画への提言」提出 | 2010プランフォローチーム |
| 10. 1 10. 11 10. 29 | 広報紙「青葉」発行 予算要望・提言説明会 第27回区民会議交流会 | 第13号 各部会(含IT) / 市・区担当部局 テーマ「よりよい街づくりのために区民会議はどうあるべきか!」 |
| 11. 3 11. 10 11. 25 | 「区民まつり」参加 「県民フォーラムよこはま」参加 公開講座 | PCコーナー開設、アンケート実施 テーマ「手をたずさえて・心のかようまちづくり」 「青葉区防災講演会」 |
| 12. 1 12. 4 | 3区交流会(幹事 青葉区) 区長との懇談会 | 福祉、都市環境、教育・文化、3部門別グループ会議 予算要望説明会の結果について |
| H14. 1. 28 | 提言「ITによる住民本位の横浜市政実現のために」提出 | IT推進チーム |
| 2. 9 2. 16 2. 18 2. 22 | 公開講座 全委員集会 「ゆめはま2010プラン」5ヵ年計画(2002~2006)素案への提言提出 「区民会議運営委員研修会」参加 | テーマ「これでいいの? 私たちのマナーは」 テーマ「“地域のつどい”のあり方」を考える 2010プランフォローチーム |
| 3. 6 3. 20 3. 23 | 施設見学会 広報紙「青葉」発行 第4期中間総会 | 日本科学未来館、機械産業記念館 第14号 前期活動の総括、後期活動方針の確認 |
| 4. 15 | 「横浜市IT戦略案に対する緊急提言」提出 | IT推進チーム |
| 7. 20 | 「区民のつどい」 | テーマ「横浜新時代」を目指す中田市長へあなたも提案しませんか」 |
| 8. 16 8. 23 8. 23 | 「15年度予算要望・提言」提出 「中田市長への提案書」提出 「新情報化推進計画緊急提言」提出 | 区長に区づくり推進費の要望などを説明 「区民のつどい」からの提案 IT推進チーム |
| 10. 1 10. 31 | 広報紙「青葉」発行 「中期政策プランへの提言」提出 | 第15号 2010プランフォローチーム |
| 11. 3 11. 9 11. 15 11. 19 11. 30 | 「区民まつり」参加 「県民フォーラムよこはま」参加 第28回区民会議交流会 公開シンポジウム 公開シンポジウム | PCコーナー設置、アンケート実施 テーマ「みんなで楽しく・われら子育て応援団」 福祉、子ども、環境、防災、道路・交通、5グループ別会議 テーマ「市民が使いやすいバスを走らせるには」 テーマ「どうする? よこはまのクラス」 |
| 12. 7 | 公開講座 | テーマ「市民協働によるコミュニティづくり」 |
| H15. 1. 15 1. 25 1. 27 1. 31 | 公開シンポジウム 公開勉強会 市長に開催報告並びに提案書提出 「中田市長への提案書」回答受理 | テーマ「みんなで語ろう、福祉のネットワーク」 テーマ「今起きるかもしれない地震にそなえる」 11/30公開シンポジウム「どうする? よこはまのクラス」 |
| 2. 15 | 3区交流会 | 「緑・環境」「災害時情報の整備」「区役所機能の強化」3グループ別会議 |
| 2. 16 | 第5期委員オリエンテーション | 委員応募者へ説明 |
| 3. 4 3. 20 3. 20 3. 25 3. 29 | 施設見学会 広報紙「青葉」発行 「15年度予算要望・提言」回答受理 「第4期活動記録」発行 第4期解散総会 | 東京電力横浜火力発電所・産学共同研究センター 第16号 |

区民のつどい

「区民のつどい」は年1回、広く区民相互が話し合う場として設けられた、区民会議の主要行事です。

第4期は、区民の主体性を中心テーマとして、次のような内容のつどいを開催しました。

平成13年度

あなたが主役のまちづくり

7月14日 青葉区公会堂 参加者173名

第1部 都市プランナーの野口和雄氏から、「市民によるまちづくりについて」と題する基調講演を聞きました。市民と行政が一体となって実行した、他都市の事例を中心に話がすすみ、まちづくりは市民が主体となってやるもの、行政に頼むのではなく自分たちが何かを始めることが肝要で、「新しい公共」という概念を強調され、区民会議もそういうものを束ねる組織になりうると示唆されました。

第2部 来場者が、福祉・自然環境・防災交通・教育・文化コミュニティの5部会が主宰する、次の五つの分科会に分かれ、それぞれのテーマでまちづくりについての意見を出し合いました。

- 第1 あなたはホームドクターをおもちですか
- 第2 水と緑に親しむには
- 第3 安全、安心なまちをつくろう
- 第4 地域に子どもをとりもどそう
- 第5 考えよう! 区民利用施設のあり方を

その後全体会議に戻って、各分科会から討議内容が報告され、その結果は予算要望・提言としてまとめ、8月下旬青葉区長を通じ横浜市に提出しました。

平成14年度

横浜新時代を目指す中田市長への提案

7月20日 青葉区公会堂 参加者167名

4月の選挙で新進の中田市長が就任、これを受けて区民会議も新しい交流を試みることにしました。

第1部 市長からの呼びかけとして、ビデオ「区民へのメッセージ」を視聴し、尾崎区長から新市長方針の要点と青葉区主要事業について説明を聞きました。新市長は基本理念として、「民の力が存分に発揮される社会」を掲げ、行政の役割はその活力を高めること、目標や夢を実現していく環境を作ることにあるとしています。

第2部 来場者が3グループに分かれ、新市長の掲げる横浜新時代の都市ビジョンについて討議しました。

第1グループでは

- ①区への権限委譲の必要性
- ②市民参加がしやすい場や条件をつくる

第2グループでは

- ①車より人中心の住宅街実現を指向
- ②区民利用施設は計画・設計段階から住民の参加を
- ③市民の提案を実現に導く仕組みを
- ④地域の特性を生かして多様な教育を

第3グループでは

- ①自治会館など地域活動拠点の整備
- ②IT利用推進のためのサポート
- ③市民に役立つ情報の公開、提供
- ④市民協力活動の社会性をアピール
- ⑤地域在住の人材活用策
- ⑥地域防災拠点の整備見直し
- ⑦地区センターの運営に利用者参加

などが、新市長への提案としてまとめられ、全体会場で報告されました。

なお、この提案は区民会議で取りまとめ、8月下旬に中田市長及び尾崎区長に提出しました。



地域のつどいについて

自治会と共催の「地域のつどい」は、平成12年以降開催されていません。区民会議としてはその打開策を探るため、14年2月に全委員集会を開催し、その後、地域活動推進グループにおいて検討を重ね、区民会議の主導による「地域懇談会設置案」をまとめ、運営委員会に提案しました。しかし、9月11日の臨時運営委員会において集中審議した結果、地域のつどいに代わる仕組みは設けず、発生した地域問題は、その都度必要に応じ、それに適した方法で取り組むという最終結論に達しました。但し、活動要領の改訂は留保し、次期に再検討の余地を残しました。

活動一覧

| 年月日 | 種別 | 場所 | 人数 | 内容 |
|-----------|-------|-----|----|--|
| 13. 4. 7 | 例会 1 | 区役所 | 16 | 27名にてスタート・部会長、副部会長 2 名選出 |
| 4. 19 | 例会 2 | 区役所 | 11 | 書記、部会名、開催日の決定 |
| 5. 14 | 例会 3 | 区役所 | 16 | H. P 委員選出・年間活動計画意見交換・自己紹介 |
| 6. 11 | 例会 4 | 区役所 | 17 | 区民のつどい実行委員選出・次年度横浜市予算要望意見交換・各研究チームの立ち上げ(安心電話・地球温暖化・バリアフリー・時間預託) |
| 6. 20 | 臨時例会 | 区役所 | 8 | 区民のつどいポスターづくり・チラシ等意見交換や準備 |
| 7. 9 | 例会 5 | 区役所 | 13 | 区民のつどい分科会運営方法・役割の協議・各研究チーム報告 |
| 7. 14 | つどい | 公会堂 | 11 | 第 1 分科会：ホームドクターってなあに… |
| 7. 23 | 臨時例会 | 区役所 | 11 | 部会長退部・次年度横浜市予算要望書提案 |
| 〃 | 研究会 | 区役所 | 11 | 安心電話調査発表 |
| 8. 4 | 例会 6 | 別館 | 12 | 区民のつどい反省会・各研究会報告 |
| 8. 27 | 研究会 | 区役所 | 6 | 安心電話調査発表 |
| 8. 29 | 臨時例会 | 区役所 | 8 | 新部会長・新副部会長選出 |
| 9. 10 | 例会 7 | 区役所 | 13 | I T 企画チーム員の選抜・各研究チーム報告 |
| 10. 7 | 学習会 | 別館 | 28 | 時間預託・エコマネー |
| 10. 8 | 例会 8 | 別館 | 15 | 公開学習会反省会・3 区交流会参加者募集 |
| 10. 13 | 臨時例会 | 別館 | 6 | まちづくりプロジェクトチーム担当部員選抜・施設見学会・全市交流会参加 3 名選出(10/30)・県民フォーラム(11/10)参加 |
| 11. 12 | 例会 9 | 区役所 | 16 | 区民まつり(11/3)の反省・各研究チームの報告・全市交流会の反省 |
| 11. 16 | 学習会 | 区役所 | 12 | 公開学習会「障害の子と生きる」 |
| 11. 21 | 学習会 | 区役所 | 7 | 研究学習会・福祉の視点から「地球温暖化をどう受け止めていますか」 |
| 12. 10 | 例会 10 | 市ヶ尾 | 16 | 市、事業に見る地域福祉・統一テーマ「介護保険と介護」・区民会議の仕組み |
| 14. 1. 11 | 例会 11 | 区役所 | 14 | 地域のつどい・3 区交流会・研究チーム提案<医療改革検討>追加 |
| 1. 16 | 学習会 | 区役所 | 5 | 研究チーム：福祉の視点からの地球温暖化防止対策 |
| 2. 11 | 例会 12 | 別館 | 14 | 介護保険の見直し・部会のありかた・中間総会(3/23)・公開講座の持ち方 |
| 2. 20 | 集会 | 区役所 | 6 | 福祉部会合同集会(青葉・緑・港北)高齢者と障害者・児 |
| 3. 11 | 例会 13 | 区役所 | 15 | 施設見学会報告(7 名)・各研究チーム報告・3 区交流会 |
| 〃 | 学習会 | 区役所 | 15 | 福祉保健サービス課担当者：介護保険の見直し |
| 4. 8 | 例会 14 | 区役所 | 13 | 部員 1 名減(転勤)在籍 27 名・中間総会反省・区民のつどい実行委員選出 |
| 5. 13 | 例会 15 | 区役所 | 12 | 次年度横浜市予算要望検討意見交換・研究チーム経過報告 |
| 6. 10 | 例会 16 | 区役所 | 13 | 次年度横浜市予算要望書まとめ・部員による情報報告 |
| 〃 | 集会 | 区役所 | 4 | 障害者後見人制度・健康老人・障害児の未来 |
| 7. 8 | 例会 17 | 区役所 | 15 | 音声案内による区役所館内(部員情報)・区民のつどい・1 月公開講座 |
| 8. 5 | 例会 18 | 別館 | 12 | ビデオによる学習会・区民のつどい反省・各報告 |
| 8. 12 | 施設見学 | 青葉区 | 7 | 美しが丘地域ケアプラザ・大場地域ケアセンター |
| 9. 9 | 例会 19 | 区役所 | 9 | 中期政策プラン・情報提供「疥癬を学ぼう」・公開講座 |
| 〃 | 学習会 | 区役所 | 10 | 地域通貨の実例(荏田南商店会)：講師「緑の会」戸塚氏／「I LOVE」岩室氏 |
| 10. 14 | 例会 20 | 別館 | 12 | 特養老人ホーム内部見学報告(7 箇所)・公開講座住基ネット(10/4)・区民まつり(11/3)・福祉保健まつり(10/10) |
| 〃 | 集会 | 区役所 | 3 | 福祉部会合同集会(青葉・緑・港北)合同公開講座(1/15) |
| 11. 11 | 例会 21 | 区役所 | 11 | シティフォーラム参加報告・区民まつり反省・公開部会運営 |
| 12. 9 | 例会 22 | 区役所 | 8 | 降雪の為に少参加となる・情報提供<点数制の特養ホーム>・合同公開講座 |
| 15. 1. 11 | 例会 23 | 山内 | 11 | 次期募集に向けて公開部会 |
| 1. 15 | 公開講座 | 区役所 | 13 | 3 区(青葉・緑・港北)福祉部会主催：「みんなで語ろう福祉のネットワーク」 |
| 2. 8 | 例会 24 | 若草台 | 8 | 北部 3 区交流会／施設見学会(3/4)・公開講座反省会 |
| 3. 10 | 例会 25 | 区役所 | 15 | 4 期を振り返って・部会まとめ／解散 |

2 年間の取り組み・今後の課題

テーマ毎にチームを編成しての活動

福祉部門は全般的に絡みもたれるので第 4 期のメインテーマを前半は「介護保険」とし、後半を「介護保険の見直し」としました。自由研究テーマに 5 つの課題を設け、各リーダーを決め成果を部会毎に発表し、まとめを学習会としました。特に部会名の「医療」と「保健」にも力を注ぐ事にしましたが、部員の中から窓口が広げすぎの声もあり、研究調査が難航した部分もありました。結果的に「区民のつどい」の第 I 分科会々場は福祉が担当でしたので、医療部門をテーマに「ホーム Dr. をお持ちですか」として、区民の声を聞くことができ参考となりました。

安心電話

福祉保健サービス課の係長から安心電話の知名度や普及率、費用・申請方法などを伺い他県との比較をしました。民生委員が独居高齢者訪問等により地域に関わり合いがあることもわかりました。安心電話を持てたら出先の緊急時に安心なのではという発想から携帯電話販売業者から福祉用携帯電話の現状を学びました。実際に TV の CM でも見られます。結論として行政が高齢者連絡網や緊急時の対応、高齢者独居世帯に福祉携帯電話を貸し出ししては如何なものかという案が出ました。地域の隣組感覚の芽生えの為に寝たきり老人だけでなく、元気老人を含む広い分野での福祉電話のネットワーク構想となりました。

施設見学

大場地域ケアセンター：青葉区大場町に平成 14 年開設、

横浜市福祉サービス協会が運営しています。デイサービス・在宅介護支援センター・地域活動など交流の場を提供しています。福祉器具の展示や紹介もしており専門員が常駐しているところが、他のケアプラザと異なります。見学の所感としては住宅街にあり場所がわかりにくく、バスが 1 時間に 1 本ぐらいの運行状況で、駐車場もありません。充実した設備があるのに交通の便が悪いのが問題です。定員 30 人のデイサービスに約 10 人ほどの利用者数でした。PR として広報誌「かやのき」を発行しています。

美しが丘地域ケアプラザ：青葉区美しが丘に平成 13 年 11 月に設立され社会福祉法人緑成会が運営しています。デイサービス在宅介護支援センター・地域活動交流の場等を区民に提供しています。広い道路に面し 2 階建てで駐車場もあります。30 人定員のデイサービスに約 20 人位の利用者がいました。まだ余裕があり、「陽だまり通信」誌を発行しています。両施設とも働く職員達の前向きな姿勢に明るい未来を感じました。

福祉視点から考える地球温暖化防止

利便さと環境が反比例をしている今日、室温効果、放射性廃棄物、大量生産／消費によるゴミの増加等が地球汚染の原因の 1 つとなっています。

この 10 年間で日本の環境は統計上、悪くなった 64%・変わらない 23%・良くなった 11% と聞いています。私たちの命にも関わる大気清浄を求めて何をすべきかを話し合いました。

市(区)政への要望・提言

安心と安全をめざして

平成 14 年度予算

1. 低床式バスの導入計画の継続
2. 最重度障害者・児の為に訓練・作業場の設置
3. デイサービス施設を最重度障害者・児に利用
4. ガイドヘルパー制度(チケット券)の内容改定
5. 区役所・別館・地区センター館内の点字ブロック等の追加補充
6. 鶴見川沿いのサイクリングコースの整備
7. 横断の危険場所に交通看板の設置
8. 地球温暖化を防ぐ PR 強化

高齢者・障害者に優しい街づくり

平成 15 年度予算

1. 徘徊高齢者の保護のシステム化導入
2. 荏田駅前(246 側)に点字ブロックの追加
3. 痴呆高齢者への虐待解決支援のシステム導入と相談窓口の設置
4. 青葉区に低床バス導入促進(民間バス含む)